

# 第 6 学年 2 組

## 1 研究主題 「表現力・コミュニケーション力を高める指導方法の工夫」

ー 自分なりの思いや考えをもち、人とのやりとりを楽しむ子どもの育成 ー

## 2 育てたい力

### ◆表現力

- 自分なりの思いや考えをもつ。
- 自分の思いや意見を言葉や文字に表す。
- 自分の思いや意見を、他人に分かるように伝える。

### ◆コミュニケーション力

- 人の話を聞きとる。
- 人の話を聞いて、新たな思いをもったり自分の考えをふくらませたりする。

## 3 研究の視点と手だて

### 〔視点 1〕 自分なりの考えや意見をもち、それを発表する子ども

- 発表の場の工夫 … 少人数グループ内での話し合いの機会をもち、人前で話すことへの抵抗を少なくする。
- 指名の仕方の工夫 … 全員に指名したりこの人の意見を聞いてみたいという人を指名したりするなど、指名の仕方を工夫し、自分なりの考えを常にもつようにする。
- スピーチの場の設定 … 帰りの会に 1 分間スピーチ取り入れる。
- 反省用紙の活用 … 一日の反省用紙を活用し、発表回数や発表者の割合などを把握する。

### 〔視点 2〕 人の話を聞き取る子ども

- 内容確認の習慣づけ … 人の話の内容を確認する習慣をつける。
- 反省用紙の活用 … 一日の反省用紙を活用し、その日一番心に残った話や発表などをメモする習慣をつける。
- 学級の雰囲気づくり … どんな意見でも、まずは聞くことが大切であることを指導するとともに、「聞こえません」サインを工夫し、誰の発表でも必ず全員が聞くという雰囲気をつくる。

### 〔視点 3〕 自分と他人とのやりとりの中から、新たな思いや考えをもつ子ども

- 集中力を高める工夫 … 人の話を聞いて感じたことを言わせる機会を多くする。
- 話し合いのスキルの向上 … 様々なテーマを設定して学級討論会を開いたり、話し合いによって問題を解決したりする機会を多くする。
- 発言の質の向上 … より多くの人が納得できる意見や考え方は、様々な意見や考えを総合的にとらえて組み立てられていることを指導する。

## 第6学年2組 成果と課題

### 研究主題「表現力・コミュニケーション力を高める指導方法の工夫」

#### — 自分なりの思いや考えをもち、人とのやりとりを楽しむ子どもの育成 — について

授業の中では子どもたちの変容は実感している。特に、繰り返し行ってきた会社活動のPRタイムでは、自分たちの会社のPRを様々な工夫しながら楽しそうに発表する姿が見られた。また、「ありがとう」「すみませんでした」という言葉が発表の場で話し手からも聞き手からもさりげなく出てくるようになった。

このような子どもの変容は、計画的に場を設定してきた成果だと考える。

しかし、それが日常的な「力」となっているかどうかについてはとらえることはできない。他教科や日常生活において、今回の取り組みによって子どもが変容したかどうかをとらえることは困難である。ただ、他教科の授業を見ていると、自分なりの思いや考えをもつことは、学習内容の理解と深く結びついていることは明確である。人とのやりとりを楽しむにしても同じである。学習内容の理解を抜きにしては、表現力やコミュニケーション力を発揮することは難しいことから、子どもに分かりやすい授業そのものが、主題に迫るためには非常に重要な要因だと考える。また、人とのやりとりの中から新たな思いや考えをもったりより質の高い意見を出したりできる子どもは少なかったことから、討論会や話し合い活動の場は十分ではなかった。

今回の研究主題に関しては、ある限られた場や状況の中ではおおむね達成することができた。たとえ限られた場や状況の中でも、そういうことができる子どもになったことは、これからの生活の中で生かされていくことと信じている。

「自分づくり」の授業実践としては、子どもたちの感想などから大きな成果があったと感じている。

